

# キングカメハメハ

【鹿毛】

## データから見た傾向

- 新馬戦の勝ち上がり率はそんなに良くないが、2戦目以降、未勝利の勝ち上がり率が半端なく、一度使ってからの上昇がすばらしい。
- 初年度産駒ながらフィフスペトルが函館2歳Sを勝ち、G1朝日杯FSではマイル経験がないにも関わらず2着に入った。
- 距離は1200mが最も成績が良く、次いで1800m、1400m、1600m。
- 北海道の芝が合いそうなのはイメージ通りだが、1200mで好成績なのは、父から考えると不思議な部分がある。
- 上がり勝負より、上がりの掛かるレースの方が向いているが、速い上がりが出せないわけではない。
- ある程度前に位置取ることができ、そこから末脚を使うので買いやすい。
- 6番人気の連対率が25%、複勝率が41.7%あり、格負けしない可能性がある。
- 母父サンデーサイレンスだと、マイル以上で走っている馬が多いが、勝っているのは1頭だけで、2着が多い。
- 勝ち切れないのは、いまいちバランスが悪いからだろうか。
- 競馬場別で見ると、中山が最も良く、次いで東京。東京で成績が良いのは、東京は直線が長い割に先行馬が強いから。サンデーサイレンスがなくなってその傾向は強まった。
- 中央開催、ローカル開催で比べると、連対率・複勝率は同じくらいだが、勝率はダントツでローカルの方が良い。サンプルが少ないが、北海道、福島、小倉が良い。これは、末脚があるタイプではなく、道中からスピードを持って先団から運び、そのまま押し切るというのが基本的なパターンだから。
- 中山の成績がいいように坂も大丈夫。阪神もそこそこ良い。
- いちばん成績が悪いのは京都で、2着まではあるが、勝ちが少なく、2008年段階ではまだ1頭しか勝ち上がっていない。ただ、これはたまたまだと思う。

※種牡馬として初年度のため、サンプルが少ない点は頭に入れておきたい。

## チャート

A型	スピード	末脚	ピッチ	ストライド	回転	拡がる	拡がらない
B型	スピード	末脚	ピッチ	ストライド	回転	拡がる	拡がらない
C型	スピード	末脚	ピッチ	ストライド	回転	拡がる	拡がらない
D型	スピード	末脚	ピッチ	ストライド	回転	拡がる	拡がらない
E型	スピード	末脚	ピッチ	ストライド	回転	拡がる	拡がらない

## 代表産駒（獲得賞金上位10頭）

### A フィフスペトル (鹿毛) (Bahri) 2-2-0-0

デビューから1200mで2連勝、函館2歳Sを勝って、新種牡馬でいきなり重賞勝ち。休み明け3戦目の京王杯2歳Sでは逃げ残りを許したが、次走朝日杯FSで初マイルにも関わらず、ルメール騎手の好騎乗があったにせよ、差して2着。鋭い脚で最後突っ込んできて、惜しい頭差。スタート良く、折り合いも問題なく、ラストもしっかり伸びてくるのは優秀。前後のバランスもいいので、坂は問題ないと思っていたが、あとは距離がどこまでもつか。体力はありそうなので、2000mでも走れないことはなさそうだが、本質はマイル以下か。キングカメハメハのいい馬はこういう感じになりそうなイメージ。

### B スガノメダリスト (栗毛) (Gone West) 2-1-2-3

1000mでデビューして4着後、未勝利1200mを勝ち上がった。その後は1200m～1600mまで使っているが、1200mで2勝、1400mで3着が1回、1600mで2着が1回。フィフスペトルと違ってかなりのピッチ走方。短距離の方が合っていると思うが、1月にマイル戦のジュニアCで2着にきた。この時も1200mからの臨戦で、延長が得意な種牡馬なのだろうか？ ジュニアCは若干流れが向いた感もあったが。

### C キングスレガリア (鹿毛) (ジェイドロバリー) 1-1-1-3

新馬戦1200mはついていけず、1600mに伸ばしても微妙で、1800mが合う感じ。ただ、道中スピードは無いので後方からとなり、加えて末脚も他馬と比べるとあるわけじゃないので、今後は厳しそう。ピッチ走法で加速はできるが、脚が長く続かない。

### C ダブルレインボー (栗毛) (Distant Relative) 1-0-1-1

ゲートが速くなく二の脚も遅いので位置取りが後ろになり、末脚はあるものもつたないレースが続いている。先行できるようになれば良さそうだが、距離は1800mくらいがベストかもしれない。後ろからいく分、末脚があるように見えるのかもしれないが、ピッチで加速力も持続力もあるので、あとはスタートでそこそこ前に行ければ強くなりそう。

### C ナンヨーアイドル (黒鹿毛) (ノーザンテスト) 1-2-0-2

力はあるが、出遅れが目立つ。後方からの競馬ばかりで差してきても届かないことが多い。さざんかSではスタート良かったが結局下がって、少頭数なのに前が開かない不運。加速型ピッチ走法で脚も拡がり持続するので、先行できれば強くなれる。

### D ナムラエクシード (鹿毛) (ノーザンテスト) 1-3-0-1

ダート4戦、芝1戦でまだわからないが、スタートから逃げるだけのスピードがある。その分末脚がなく、行き切ってどこまで粘れるかというDタイプ。体力があるなら距離を伸ばしてローカルで押し切る競馬もできるかもしれない。今後芝とダート、どちらに進むか。

### E キングオバマ (鹿毛) (オペラハウス) 1-1-1-3

前に行ける脚はあるが、ストライドのためか加速はできず、道中スピードを持続させてどこまで行けるかという感じ。近走1200mを使っているが絶対に合わない。距離を伸ばして前に行って押し切るような競馬ができるようになれば。

### D ナショナルヒーロー (鹿毛) (プライアンズタイム) 1-1-1-1

新馬戦では武豊騎手がいかわらずの下げての競馬で、上がり34.0秒を出しているが、末脚はないタイプ。前に行ける脚があるので、前目から押し切る競馬が理想で、ダートの方がいいのかもしれない。溜めればそこそこの脚は使えるが、他馬も使えるので優位にはならない。

### C ローレルレガリス (鹿毛) (アスワン) 1-1-0-1

ダートを主戦にし、1800mで3回、芝では2000mを1度使った。スタートは出遅れないが遅く、好位～中団からの競馬。仕掛けてからの反応が良く、直線もしっか

り伸びるので、中距離は向いている。芝でも問題ない走りはしているので、今後が楽しみ。

### B レイニ (黒鹿毛) (Storm Cat) 1-1-0-1

ピッチ走法のスピード持続型で、スガノメダリストに近いが、新馬戦が1400mだったせいか、1200mでは若干押つけ気味だった。スガノメダリストよりは脚は拡がっていて、溜めも利くので、東京1400mあたりはいい条件のように思う。

#### 産駒傾向まとめ

❖ 距離:1200m～1800m

❖ 条件:芝◎ ダ○

❖ 活躍馬クラス:重賞

☑ 基本はパワー型のピッチ走法タイプ。

☑ 芝、ダートとも走れて、スピードもあるので先行力がある。

☑ ピッチ走方で先行できて脚が拡がるなら強くなる可能性大。

#### memo

